

連続  
講座

# 震災と文学

東北学院大学地域共生推進機構 (2013年度 全5回)

第2回

## 和合亮一

「『詩の礫』から  
『廃炉詩篇』へ」

受講生募集中  
入場無料

11月8日 (金) 18:00～19:30

会場／東北学院大学土樋キャンパス 5号館521教室

主催／東北学院大学地域共生推進機構 企画・コーディネート／有限会社荒蝦夷

わごう・りょういち◎詩人。1968年、福島県福島市生まれ。福島市在住。福島大学卒。福島県立保原高校教諭。『After』（中原中也賞）、『地球頭脳詩篇』（土井晩翠賞）など。震災後の著書に『詩の黙礼』、『詩の礫』、『詩の邂逅』、『私とあなたここに生まれて』、『ふたたびの春に』、『詩の礫 起承転転』、『廃炉詩篇』など。



【企画趣旨】3.11の東日本大震災は、未曾有の災害と言われる。しかし未曾有ではない。この大震災は私たちの生の組み立て方に深刻な反省を促した。戦後に私たちが受け容れてきた生の枠組みについての反省である。こうした枠組みについての反省を、すでに800年前の日本の文学が行っている。平安から鎌倉にかけてのその時も、深刻な天変地異があり、そして人災としての戦争があった。人々は生きることを問い直し、そして綺羅星のような数々の生の形を作り出した。その形が日本人の精神的骨格を作り出している。

あの時代と同じ問いの前に、私たちは再び立たされている。私たちもまた、生きる形を問い直し、新しい軌跡を作っていくべきではない。文学は、今を生きる人々の生きる形の模索とならねばならないだろう。震災が機縁となって私たちに考えることを強いたこの問いを前にし、私たちはここに『震災と文学』という考える場、生きる形を問う場所を設けたいと思う。

佐々木俊三(東北学院大学副学長・同大学地域共生推進機構構長)

【お問合せ・お申込み】東北学院大学地域共生推進機構

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1

Eメール：kikou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

TEL:022-264-6424 FAX:022-264-6364

今後の予定

11月22日 (金) 鎌田慧 ルポライター

12月6日 (金) 若松丈太郎 詩人

2014年2月17日 (月) 玄侑宗久 作家

\*席に限りがございますので事前のお申し込みをお勧めいたします。申込者の氏名・住所・電話番号・年齢（お持ちの方はEメールアドレスも）をご明記の上、ハガキ、FAX、またはEメールにてお申込みください。5回連続でも1回ごとでもお申込みいただけます。

\*ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。